

●魅力を活かす「合併後」のまちづくり 地域の誇りや文化を 次の世代へ伝えたい

高山市では、市域全体の早期の一体感の醸成と均衡ある発展を目指して合併直後から旧町村に総合支所を置き、まちづくりを進めています。

合併後から取り組んでいる支所地域での特徴的な事業をご紹介します。

●特色ある地域づくりを応援

合併後10年間を期限として「地域振興特別予算」を設け、支所地域の伝統文化の継承や固有の事業など地域の特性を活かしたまちづくりを進めています。また、「地域振興事業補助金」の制度を設けて市民が主体となって取り組む地域づくりを支援しています。

●「やさしさ」運ぶ地域交通

市街地では、合併前からコミュニティバス「のらマイカー」を運行していましたが、合併後支所地域に無料で利用できる地域福祉バスを導入。市街地と支所地域間は自主運行バスや路線バスでつなぎ、地域交通をネットワーク化しています。また、スクールバスに市民が乗車できるようにするなど、日常生活における移動手段を確保しています。

●外からの目線で活性化に一役

平成20年度からは人口減少と高齢化が著しい高根地域に都市部からの「集落支援員」を2人配置しています。支援員は、町内で行われる行事や地域の活動に参加。都市部からの目線を生かして地域の活性化に一役買っています。



●心に残る「景色」となる記念公園

平成19年度から2年をかけて、市内5カ所に地域の特性を活かした合併記念公園を整備しました。整備にあたっては「合併後の高山市を象徴するような自然資源を活かした公園」とするため、公園ごとにコンセプトを設定。可能な限りユニバーサルデザインに配慮しています。



宇津江四十八滝自然公園(国府町)

自立した新しい 高山市を目指して

将来を見据えた行財政改革の取組み

市町村合併時、高山市の財政状況はいったんは悪くなりましたが、幅広い分野で継続して行財政改革に取り組み、行財政運営の効率化と健全化を図ってきました。これからも行財政改革の推進にご理解とご協力をお願いします。

